

# あなたの備えは大丈夫？



**大** 雨や台風などによる災害が起こりやすい季節になりました。近年、県内でも大雨による大規模な浸水被害や土砂崩れなどが発生しており、自然災害に備えた心構えと準備をしておく必要性が高まっています。

本市は海や大きな河川がないため、水害が起こりにくい地域ですが、災害が発生したときに落ち着いて対応できるよう、日ごろから備えておくことが重要です。自分の備えは十分か、いざというときにどのような行動をとればよいか考えてみましょう。



●排水溝の掃除  
●窓や雨戸の補強  
●安全で動きやすい服装  
●吹き飛ばされそうなものは室内へ  
●床上浸水対策

脱げにくい、ひもで締められる運動靴など（裸足で避難しない。長靴は水がたまると危険）  
ヘルメットやずきんなど頭を保護するもの

## ■ 備蓄品チェックリスト（一例）

- 飲料水  
1人1日3ℓを目安に、3日分を用意
- 食品  
ご飯（アルファ米など1人5食分）、ビスケット、板チョコ、乾パンなど、1人最低3日分
- トイレトペーパー、ティッシュペーパー
- 下着、衣類、タオル
- カセットコンロ



## ■ 非常時の持ち出し品チェックリスト（一例）

- 現金
- 預金通帳、印鑑
- 保険証
- 免許証
- 携帯電話、充電器
- 懐中電灯
- 携帯（防災）ラジオ
- 予備の乾電池
- ヘルメット、防災ずきん
- 厚手の手袋
- 毛布
- 缶切り
- ナイフ
- 携帯用トイレ
- 救急箱、持病の薬
- 処方箋の控え
- 飲料水
- 非常食（乾パン・缶詰）
- 下着、衣類
- 防寒着、雨具

⑤ 非常時の持ち出し品や備蓄の準備  
災害発生時は、水道や電気などが止まることも考えられます。非常時の持ち出し品や備蓄も準備しておきましょう。

## ● 防災行政無線

市の重要なお知らせを放送します。放送内容を電話で聴きなおすこともできます。  
専用ダイヤル ☎248-2288



## ● 熊本県統合型防災情報システム

県内の雨量や気象情報をリアルタイムで提供します。

http://www.bousai.pref.kumamoto.jp



## ● 防災情報お知らせメール

各種警報や土砂災害警戒情報、地震情報、避難情報や、その他防犯上必要な情報などをお知らせします。

QRコードを読み取るか、アドレスを入力して空メールを送信したあと、届いたメールに従って登録してください。

市  [bousai.koshi-city@raiden.ktaiwork.jp](mailto:bousai.koshi-city@raidan.ktaiwork.jp)  
※防災行政無線で放送される情報も配信

県  [entry@anshin.pref.kumamoto.jp](mailto:entry@anshin.pref.kumamoto.jp)

## 情報収集のサービス

※いずれのサービスも登録料や情報料は無料です。通話料や通話料は利用者負担となります。

## 身を守るためにできること

### ① 情報収集

防災の第一歩は情報収集です。テレビやラジオ、電話やパソコン、防災行政無線や防災メールなどを活用し、気象情報や避難情報をできるだけ正確に把握することが重要です。

### ② 危険箇所の把握

地盤が緩く、土砂崩れが心配な急傾斜地や大雨で冠水しやすいところなど、日ごろから地域の危険箇所を把握しておきましょう。

### ③ 避難場所や避難経路の確認

市が発する避難情報は4種類あります。状況によって違いがありますので、内容を確認し、注意して耳を傾けてください。また、避難が必要になったとき、どこにどのように行けばよいか、日ごろから家族で確認しておきましょう。

### 風水害

本市での水害は、降水量の多い6月下旬から7月に発生しています。9月ごろまでは台風による大きな被害も起こりやすいため、河川の氾濫や道路の冠水、床上浸水などに備えましょう。

### 土砂災害

大雨や地震の影響などで発生しやすくなります。梅雨や台風により雨が降り続く時期は、急な傾斜地やがけの地盤の緩み、亀裂、周りの音などに注意が必要です。

## ■ 市が発する避難情報の違い

緊急性	種類	発令時の状況	住民に求める行動
中 ↓ 高	自主避難	災害の危険が迫っていると判断した場合の避難	・ 必要に応じて地域の公民館などに避難してください ・ 避難中の食事や生活必需品は自分で用意してください
	避難準備情報	避難に時間がかかる要援護者は避難開始（人的被害が発生する可能性が高まっている状況）	・ 高齢者・病人・障がい者などは、支援者と共に早めの避難を始めてください ・ 非常時持ち出し品を用意するなど、いつでも避難できる準備をしてください
	避難勧告	通常の避難ができる人も避難開始（人的被害が発生する可能性がさらに高まっている状況）	・ 速やかに避難所への移動を始めてください
	避難指示	災害の前兆現象の発生や切迫した状況から、人的被害が発生する可能性が非常に高い、または実際に人的被害が発生した状況	・ まだ避難していない人は直ちに避難し、避難中の人は確実に避難を完了してください ・ 避難の時間的余裕がない場合は生命を守る最低限の行動をとってください